

ほくさい 4

JA HOKUSAI INFORMATION

2023・NO.322

JAほくさい公式
Facebookページ
最新情報を共有します。



JAほくさい公式
LINEアカウント
友だち募集中!



目次

特集「経営所得安定対策と水田活用直接支払い交付金の概要」	2
INFORMATION	6
ニュースストーリー	9
ぎょうだ通信／俳句	12
わが家のアイドル／長寿バンザイ／表紙の人	13
営農ワンポイント	14
クロスワードパズル	15



 JA ほくさい

特集

経営所得安定対策と水田活用の 直接支払交付金の概要

令和5年度変更

- 畑作物の直接支払交付金が免税事業者向け単価と課税事業者向け単価に分かれました。
- 産地交付金の助成項目等の取組内容が変更となりました。

経営所得安定対策

畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)

諸外国との生産条件の格差により不利がある畑作物を生産販売する農業者の経営安定のための交付金です。今年度から免税事業者向け単価と課税事業者向け単価に分かれます。

- 【対象作物】 麦、大豆、そば、なたね（ビール麦、黒大豆、種子用は対象外）
- 【対象農地】 畑及び水田
- 【交付対象者】 認定農業者、集落営農、認定新規就農者（いずれも規模要件なし）
- 【交付金額】 数量払：収穫量に交付単価を乗じた金額（基本は数量払）
面積払：数量払の先払として、当年産の作付面積に応じた金額
- 【交付単価】 数量払の単価 下表を参照（令和7年産まで適用）
面積払の単価 20,000円/10a（「そば」は13,000円/10a）

令和5～7年産の数量払交付単価

- 免税事業者向け単価が適用されるには、個人は2年前（令和3年分）、法人は2期前の各事業年度の所得に係る税務署等が受け付けた確定申告書（写）等の提出が必要です。
- 組織として確定申告していない集落営農には、課税事業者向け単価が適用されます。

小麦・大豆・はだか麦

品質区分(等級)		1等又は1等相当				2等又は2等相当			
		A	B	C	D	A	B	C	D
小麦(パン・中華麺用品種) (円/60kg)	課税	7,860	7,360	7,210	7,150	6,700	6,200	6,050	5,990
	免税	8,270	7,770	7,620	7,560	7,110	6,610	6,460	6,400
小麦(上記以外) (円/60kg)	課税	5,560	5,060	4,910	4,850	4,400	3,900	3,750	3,690
	免税	5,970	5,470	5,320	5,260	4,810	4,310	4,160	4,100
二条大麦 (円/50kg)	課税	5,870	5,450	5,330	5,280	5,010	4,590	4,460	4,410
	免税	6,220	5,800	5,680	5,630	5,360	4,940	4,810	4,760
六条大麦 (円/50kg)	課税	5,210	4,790	4,660	4,610	4,180	3,760	3,640	3,590
	免税	5,510	5,090	4,960	4,910	4,480	4,060	3,940	3,890
はだか麦 (円/60kg)	課税	9,220	8,720	8,570	8,480	7,650	7,150	7,000	6,920
	免税	9,750	9,250	9,100	9,010	8,180	7,680	7,530	7,450

大豆

品質区分 (等級)		1等又は1等相当	2等又は2等相当	3等又は3等相当	品質区分 (等級)	合格又は合格相当	
普通大豆 (円/60kg)	課税	10,360	9,670	8,990	特定加工用大豆 (円/60kg)	課税	8,310
	免税	10,770	10,080	9,400		免税	8,720

そば

品質区分 (等級)		1等又は1等相当	2等又は2等相当
そば (円/45kg)	課税	17,180	15,070
	免税	18,010	15,900

水田活用の直接支払交付金

①戦略作物助成^{※1}

水田で麦、大豆、飼料用米、米粉用米等を販売目的で生産する販売農家、集落営農に対して交付金が直接交付されます。

【対象農地】水田^{※2} (たん水設備や用水路等を有する)

【交付対象者】販売農家、集落営農

対象作物 (基幹作のみ)	交付単価
麦、大豆、飼料作物 ^{※3}	35,000円/10a ^{※4}
WCS用稲	80,000円/10a
加工用米	20,000円/10a
飼料用米、米粉用米	80,000円/10aまたは収量に応じて、 55,000円/10a~105,000円/10a

※1 戦略作物助成は、コメ新市場開拓等促進事業及び畑作物産地形成促進事業の交付金との重複受給はできません。

※2 対象農地

- たん水設備 (畦畔等) や用水路等を有しない農地は交付対象外
- 現場の課題を検証しつつ、5年間で一度も水張り (水稻作付) が行われない農地は令和9年度以降は交付対象水田としない

※3 子実用とうもろこし含む

※4 多年生牧草については収穫のみ行う年は10,000円/10a支援

こんな
行為は
違反です

☆飼料用米等として生産した米を主食用米として販売

☆主食用米から発生したふるい下米を寄せ集めて新規需要米の飼料用米として出荷し、交付金を申請

☆他者から購入した米や、主食用米として生産した米を飼料用米に上積みして出荷し、交付金を申請

②産地交付金

埼玉県が定める水田収益力強化ビジョンに基づき、水田で麦、大豆、飼料用米、米粉用米等を販売目的で生産する販売農家等に交付金が交付されます。

【対象農地】水田（たん水設備や用水路等を有する）

(1) 県独自メニュー

No	対象作物	対象者	交付単価 ^{※1} （円）		
			当初	配分増額により 充当する場合の上限額	充当する順番
1	麦、大豆	認定農業者 集落営農 認定新規就農者	5,200	5,500	②
2-1	高収益作物 (基幹作のみ・ 11品目 ^{※2})		5,200	5,500	⑤
2-2	高収益作物 (基幹作のみ・ 上記以外の野菜)		5,000		
3-1	飼料用米		3,800	4,300	③
3-2	米粉用米		3,000		
4-1	二毛作 (主食+戦略作物等) ^{※3}	販売農家 集落営農	3,500	4,000	④
4-2	二毛作 (戦略作物同士)		10,500	11,000	①
5	飼料作物		5,200	5,500	⑥

※1 活用実績によっては、当初交付単価より下がる場合があります。

※2 ねぎ、ブロッコリー、カリフラワー、さといも、とうもろこし、なす、えだまめ、たまねぎ、にんにく、じゃがいも、ごま

※3 戦略作物助成の対象作物（麦、大豆、飼料作物、WCS用稲、加工用米、飼料用米、米粉用米）及びそば、なたね、新市場開拓用米

(2) 地域の取組に応じた追加配分 ※令和5年度から飼料用米、米粉用米の複数年契約(6,000円)はなくなります。

No	対象作物	対象者	交付単価
1	そば、なたねの作付 (基幹作のみ)	販売農家 集落営農	20,000円/10a
2	新市場開拓用米の作付 ^{※1} (基幹作のみ)		20,000円/10a
3	新市場開拓用米の複数年契約 (基幹作のみ)		10,000円/10a
4	地力増進作物の作付拡大 (基幹作のみ)		20,000円/10a ^{※2}

※1 コメ新市場開拓等促進事業の交付金との重複受給はできません。

※2 地域協議会毎の取組によって配分されるため、単価が20,000円/10aより下がる場合があります。なお、配分方法については令和5年2月17日現在未定です。

収入減少に備えてセーフティネットに加入しましょう!!

米・畑作物の収入減少影響緩和交付金 (ナラシ対策)

交付対象者

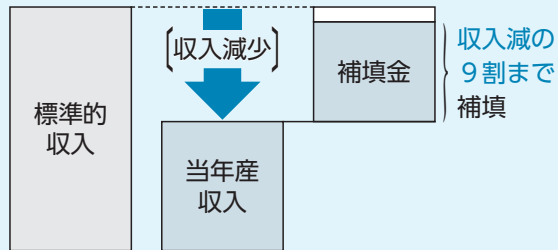
認定農業者、集落営農、認定新規就農者
※規模要件なし

対象作物

米・麦・大豆
※ビール用麦等、黒大豆、種子用は対象外

制度概要

- 当年産収入（米・麦・大豆の販売収入合計）が標準的収入額を下回った場合に、その差額の9割を補填する。
- 補填の財源は、**農業者と国が1：3の割合で負担**する（積立金は掛け捨てではない）。
- 令和5年産の交付金は、令和5年6月末までに出荷・販売契約を集出荷業者と結び、令和6年3月末までに出荷・販売した実績により令和6年5月～6月に支払われる。



詳細については各営農経済センターにお問い合わせください。



注意：収入保険とナラシ対策の重複加入はできません。

収入保険

詳細については埼玉県農業共済組合 東部統括支所 (☎048-559-1588) にお問い合わせください。

加入対象者

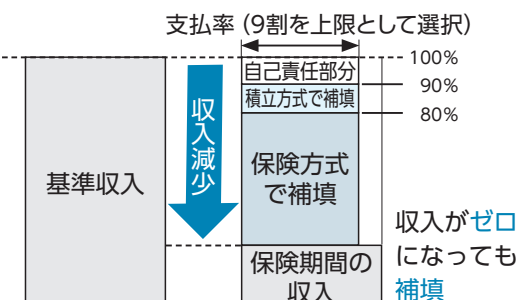
青色申告を行っている農業者（個人・法人）

補償対象

- 自然災害・市場価格下落
- 盗難・事故・ケガ・病気等

制度概要

- 保険期間の収入が**基準収入の9割（5年以上の青色申告実績がある場合）**を下回った場合、**下回った額の9割を上限に補填**します。
- 補填方式は**保険方式（掛け捨て）**と**積立方式（掛け捨てではない）**の組み合わせができます。
- 保険料には50%、積立金には75%、付加保険料には50%の国庫補助があります。



(注) 5年以上の青色申告実績がある方の場合

- ※個人の方の場合、1月～12月が保険期間となり、12月末が今年の加入申請の締め切りです。（法人の方は事業開始月の前月の末日が加入申請締め切り）。
- ※上記のほか、掛金の安いタイプもあります。

価格の下落だけでなく、自然災害やケガ・病気も対象になるんだ!



お知らせ

理事会から

2月28日の主な議案
議案なし

税務法律相談

5月1日に行田中央支店で開催

JAでは毎月、本店、行田中央支店、加須中央支店と会場を移して土地・建物や税務・法律に関する無料相談を行っています。

幅広い内容の相談に応じますので、お気軽にご相談ください。また、ご相談のある方は事前の予約をお願いいたします。

〈日時〉 5月1日(月)
午後1時30分より

※相談時間は1人30分です。

〈場所〉 JA行田中央支店

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、電話相談になる場合があります。

〈ご予約窓口〉

JA本店 資産管理課

(☎048156313000)

または各支店窓口へ

JA共済の地域貢献活動

JAほくさいは災害時に備え物資を運ぶ台車と、非常食のバームクーヘンを準備しました。



◆お知らせ◆ 無人ヘリコプターによる農薬空中散布の実施について



麦の赤カビ防除のため、下記のとおり農薬の空中散布を実施します。早朝からの騒音、農道の使用等でご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。また、近隣住民の方にはご協力をお願いします。

◎散布にあたっては、次の危害防止策を実施します

- ①危険個所など実施区域及びその周辺の状況を把握します
- ②操作要員、補助員を適切に配置します
- ③飛散を防止するため、風向・風速などの気象状況を把握します

散布地域	散布日程	散布時間	散布農薬	対象病名
行田市・羽生市・加須市の各地域	ビール大麦 4月中旬以降 普通小麦 4月下旬以降	午前5時～11時(予定)	トップジンMゾル	赤カビ病

※散布日程・時間は、天候、生育状況等により変更する場合があります



©よりぞう

JAほくさいの 最寄りの支店でも 投信取扱い はじめました



©よりぞう

【投資信託に関してご留意いただきたい事項】

●投資信託は預貯金とは異なり、元本の保証はありません。●投資信託は預金保険・貯金保険の対象ではありません。●JAバンク*が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。●JAバンクは投資信託の販売会社であり、投資信託の設定・運用は投資信託会社が行います。●投資信託は国内外の有価証券等で運用されるため、信託財産に組み入れられた株式・債券・REIT等の値動きや為替変動に伴うリスクがあります。このため、投資信託資産の価値が投資元本を下回るリスク等は、投資信託の購入者に帰属します。詳しくは、契約締結前交付書面、投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。●投資信託の運用による利益および損失は、投資信託の購入者に帰属します。●一部の投資信託には、特定日にしか換金できないものがあります。●投資信託の購入から換金・償還までの間に、直接または間接的にご負担いただく代表的な費用等には以下のものがあります。なお、これらの手数料等はファンド・購入金額等により異なるため、具体的な金額・計算方法を記載することができません。各投資信託の手数料等の詳細は契約締結前交付書面、投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。・購入時：購入時手数料がかかるファンドがあります。・運用期間中：運用管理費用（信託報酬・管理報酬等）が日々信託財産から差し引かれます。・換金時：信託財産留保額がかかるファンドがあります。また、外貨に両替して購入・換金するファンドには、上記の各種手数料等とは別に為替手数料がかかります。●お申込みにあたっては、契約締結前交付書面、投資信託説明書（交付目論見書）を十分お読みいただき、内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。*お客さまと取引のある農業協同組合および当該農業協同組合が所在する都道府県の信用農業協同組合連合会ならびに農林中央金庫を含めてJAバンク会員といえます。

JAバンクアプリ

スマホアプリから、口座残高がすぐ確認できる。

アプリの
ダウンロードは
こちらから



©よりぞう

<https://www.jabank.org/app/>

JAバンクアプリ

■JAほくさい

本店	TEL048-561-6911	加須中央支店	TEL0480-61-0905
行田中部支店	TEL048-556-2235	騎西中央支店	TEL0480-73-1121
行田中央支店	TEL048-556-1171	北川辺支店	TEL0280-62-2211
川里中央支店	TEL048-569-1321	大利根中央支店	TEL0480-72-3111
羽生中央支店	TEL048-561-1009		

※詳しくは当JA窓口までお問い合わせください。

投資信託のこと、資産運用のこと、お気軽にご相談ください！



©よりぞう

地元農産物のお土産付き

田植え

6/10 土

10時～12時 (予定)

稲刈り

10/7 土

10時～12時 (予定)



参加費
無料

会場

行田市荒木公民館 近隣ほ場

(行田市荒木1111)

稲作体験教室

【募集人数】

★10家族 (約30名)
★原則としてJAほくさい管内 (行田市・羽生市・加須市・旧川里町) にお住まいの方で、田植え・稲刈りの両日参加できる方
★2名以上でお申し込みください。応募多数の場合は抽選とします。

【応募方法】

JAに備え付けの専用用紙で各支店・営農経済センター窓口またはFAXでお申込みいただくか、郵便はがきまたはEメールで「稲作体験教室希望」と明記のうえ、①郵便番号 ②住所 ③参加者全員の氏名 (ふりがな)・年齢 ④日中連絡のとれる電話番号 を記入し、下記の宛先までご応募ください。当選された方には別途参加案内を差し上げます。
【締め切り】
5月12日(金)申込先必着

【その他】

★お弁当を用意する予定です
★新型コロナウイルス感染拡大の状況により中止させていただく場合があります★雨天の場合、内容を変更または中止することがあります★お子様には田植え用水田足袋を貸出いたします (無料)。ご希望の方は、お申し込みの際に靴のサイズ (18号・20号・22号・24号) をご記入ください。

お申込・お問合せ先

〒348-8513 羽生市東7-15-3

JAほくさい 営農支援課 稲作体験教室募集係

☎048-563-3000 FAX: 048-561-4530 Eメール: hokusai015@st-ja.or.jp

JA共済の地域貢献活動



JAほくさい

西
市
騎
苗

日程▶ 4/23日 (日) 9:00～14:00

会場▶ 騎西カントリーエレベーター 加須市戸室667

問い合わせ先▶ JA騎西営農経済センター ☎0480-73-1122



加須地区のJA女性部が手芸教室を開催

加須地区のJA女性部は、2月に各支部で手芸教室を開きました。

加須・北支部（遠藤宏子部長）は、2月7日に加須中央支店でハーバリウムのボールペンづくりを行いました。集まった部員9名は、ボールペンの上部についたクリアケース部分にパーツとオイルを交互に入れて、思い思いの作品を仕上げました。

水深・大桑支部（関和枝美子部長）は、同21日に水深支店でエコバック作りを行いました。

参加した7名が材料に使ったのは、30%の米袋。1枚の袋を切ったり貼ったりすることで、耐久性の高いバックができあがります。部員は仕上がった作品を手「何を入れようか楽しみ」と笑顔で持ち帰りました。

西・志多見支部（秋山淳子部長）は、同22日に加須西支店で行いました。参加した10名が作ったのは、めがねケース。接着芯を貼った布で縫い上げたため、軽くて丈夫なケースが出来上がりました。



加須・北支部



水深・大桑支部



西・志多見支部

行田中央支店・行田営農経済センター・行田中部支店が新築オープン

2月27日に、JA行田中央支店、行田営農経済センター、行田中部支店が新築オープンしました。オープニングセレモニーに行田市石井直彦市長や工事関係者、JA役員など約40人が集りテープカットを行いました。

行田中央支店は鉄骨造2階建、延べ床面積は、1,388㎡。新店舗1階には、金融共済窓口と営農経済センターの他、組合員も利用できる多目的ルーム兼大会議室もそなえています。

行田中部支店は、鉄骨造平屋建、延べ床面積は、248㎡で金融共済店舗として営業が始まりました。

同JA大塚宏組合長は、「建物が無事完成したことに感謝する。新店舗でも引き続き役員一丸となり、組合員をはじめ利用者の期待に応えられるよう更なるサービス向上に努める」と意気込みを語りました。



行田中央支店でテープカットをする大塚組合長（左から5番目）と来賓・役員



行田中部支店のオープニングセレモニーで挨拶する大塚組合長

JA職員が礼羽小学校で授業

JAは加須市立礼羽小学校より総合的な学習の時間の講師派遣依頼を受け、2月15日に騎西農産物直売所の菊地忠店長が、5年1組42人の児童に対し授業をしました。

内容は、農産物の流通やフードマイレージ、フードロスなど。段ボール箱を使用し農産物の等級と規格や青森県の大間マグロと加須市の梨を比較し、市場までの移動距離にかかるエネルギーとCO₂の排出量、流通コストについてわかりやすく説明しました。



児童に農産物の流通について説明する菊地店長

農産物収穫体験ドライブラリーを開催 JA共済の地域貢献活動

JAは、「食」と「農」の大切さを広め地域農業への理解を深めてもらうため、2月18、19日の2日間、管内の消費者を対象に「収穫体験 ドライブラリー」を開催しました。

参加者は2日間で20組82人。

JA共済連埼玉県本部の地域・農業活性化積立金を活用し、今年度2回目の開催となります。

ドライブラリーはマイカーで3つのチェックポイントを巡り加須地域の農産物の収穫などを行います。

参加者は、加須市戸崎のほ場25㍍で、キャベツとブロッコリーの収穫を体験し、同JA騎西農産物直売所で買い物の後、加須市むさしの村でイチゴ狩りを楽しみました。



ブロッコリー・キャベツのほ場を提供いただいた渡辺秀典さん（前列④）と参加者の皆さん



スマホの操作を教わる年金友の会役員

大利根地区でスマホ教室を開催

JAは2月7日に加須市の大利根中央支店でスマホ教室を開きました。

年金友の会大利根支部役員11人が参加し、スマートフォンの基本操作と、アプリの使い方などを学びました。

入門編と基礎編に参加した、同会青木利雄支部長は「不安もあったが、わかりやすい説明で、簡単に操作できた。スマホをさわるのが楽しくなった」と笑顔で話しました。

スマート農業研究会が総会を開催

北埼玉スマート農業研究会（新井健一会長）は、2月17日にJA本店で第4回通常総会を開きました。

開会に先立ち、新井会長は「生産コスト低減に向け、スマート農業技術を活用した効率化・省力化が必要」と挨拶しました。

会員は、令和4年度事業報告、規約の改正、令和5年度事業計画および収支予算について審議・承認されました。

総会后、「これからのコメの動向・需要」について、コメ専門フリーライターの熊野孝文氏の講演を聴きました。



議長を務める新井会長と協議する会員の皆さん

羽生地区中学校合同チームが全国大会へ



文部科学大臣杯第14回全日本少年春季軟式野球大会において、羽生地区中学校合同チームが埼玉県大会で優勝し全国大会への出場が決定しました。

これを受け2月13日にJAの大塚宏組合長が羽生市立羽生東中学校を訪問し、同中学校野球部保護者会の永沼成行会長に寄附金を手渡し激励しました。

大塚組合長④から寄附を受け取る永沼会長⑤と寺井進一郎校長

「納豆小粒」検討会

2月22日にJ A本店で、株式会社山中農産（山中哲大代表）とJ A全農埼玉県本部米麦課、J Aほくさい営農販売課他15人が参加し、令和4年産大豆「納豆小粒」試験栽培に係る意見交換会を開きました。

国産大豆の集荷や販売状況の説明をした後、全農埼玉県本部上野敏昭技術参与が、播種作業から収穫までの栽培記録を発表しました。

埼玉県産大豆の「里のほほえみ」と「納豆小粒」を使用した納豆の試食も行い、豆の違いや、等級の差を確認しました。

生産者の山中哲大代表は「今年は昨年の倍の2トンの収穫を目指す。ほ場の整備を徹底し良質の大豆を栽培したい」と意気込みを語りました。



納豆の試食をする山中代表⑥と全農職員



味噌を仕込む部員の皆さん

J A羽生女性部がみそ作り

J A女性部羽生支部（長谷川タマ子部長）は、2月22日に羽生市のJ Aほくさい本店で、厚生産業株式会社の小寺雄基氏を講師に迎え、みそ作りを行いました。参加者した部員は15人。

参加者は講師指導のもと、Aコープ商品の米こうじ300gに塩180gを加えたものを、すりつぶした国産大豆水煮1kgと混ぜ合わせタッパーに詰め、塩分13%出来上がり1.5kgの味噌を仕込みました。

部員から「重石や天地返しが必要は？」との質問に、小寺講師は「量が少なく、たまり（味噌から出る水分）は上がらないので重石は必要ありません。また天地返しもこの量なら必要ありません。直接日の当たらない場所に常温で10ヶ月間保管してください」と答えました。

青色申告決算個別指導会開催

J Aほくさい管内の各農業青色申告会は、2月上旬から3月にかけて、青色申告決算個別指導会を開きました。

青色申告会指導員や税理士事務所の職員、J A職員が会員が記入した確定申告書のチェックや、申告・決算に係る相談に対応します。

2月20日にJ A騎西営農経済センターに訪れた会員は40人。対応した加須市騎西地区農業青色申告会の茂木壮一会長は「農業にかかる収入や費用の仕分を確認し、相談にものります。会員がスムーズに申告できるよう手助けしていきたい」と話しました。



青色申告決算個別指導会の様子

フードパントリーに野菜を寄贈

J Aは、2月17日にJ A行田中央支店で、管内の生産者が栽培したサトイモ30kg、キャベツ50kg、ブロッコリー25kg、ネギ20kg、キュウリ30kgと、北川辺ブランドトマト「木甘坊」17kg（4kg/1kg）を、フードパントリーを運営する羽生市のNPO法人羽生の杜（田村信征理事長）に寄贈しました。



J A共済連埼玉県本部の地域・農業活性化積立金を活用し、地域の子育て支援を目的としています。

今回農産物の提供を受けた、田村理事長は、「羽生市で子ども食堂を営む他団体にも分けて新鮮な野菜を多くの家庭に届けたい」と話しました。

今回の野菜は、支援を必要とする150世帯に配布されました。

行田営農経済センター新井職員から農産物を受取る田村理事長⑥

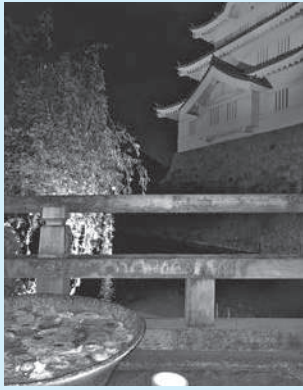
JA共済の地域貢献活動

行田市の『花手水Week』と『希望の光ライトアップイベント』

ぎょうだ通信

各地区の編集委員が自慢の人・モノ・場所をご紹介します。

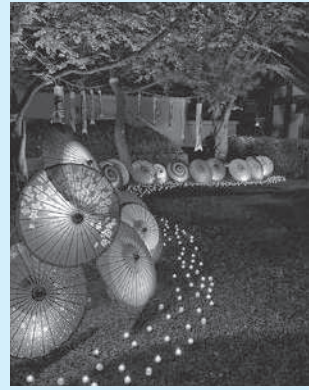
今回は行田地区です。



花手水と忍城ライトアップ



灯籠のライトアップ



傘のライトアップ

行田八幡神社は2020年春より自粛生活が続く中で参拝者に癒しを提供したいとの思いから花手水を飾り始めました。

この取組が周囲の神社や商店にも広がり、行田市も協力して「行田市花手水Week」が広まりました。期間中は市内中心の施設、商店を中心に約100ヶ所で花手水が飾られ、華と彩りを楽しむことができます。

また、毎月第一土曜日には「希望の光ライトアップイベント」が開催され、忍城址、行田八幡神社、前玉神社をメイン会場とし、夜間のライトアップが行われます。昼の姿とは変わってライトに照らされた幻想的な雰囲気を楽しむことができます。

行田花手水weekおよび希望の光ライトアップイベントは今年も行われる予定となっておりますので是非一度足をお運びください。(イベントが行われない月もありますので詳細は観光課HPをご覧ください)

俳句

折原野歩留 選

玉葱の立ち上がりたる穀雨かな

行田 荒井 王子

(評)穀雨とは暦の二十四節のひとつで、四月中旬頃降る雨の事で作物が豊作になると伝えられている。

寒い間伸び悩んでいた玉葱が、水を得た魚の様に元気に立ち上がった。さぞかし立派な玉葱が出来る事であろう。

義理欠きかそれとも恋か残り鴨

騎西 持塚 悦夫

老いらくの恋とも思ふ桜時

大和根 野口 勇一

新緑へチヨットコイと招く鳥

加須 立野より子

追いつきし群れの一羽よ鳥渡る

川里 井上美智子

耕せば空から鳥の応援歌

行田 荻原 増夫

ぶかぶかと気球が十も風光る

川里 黒巢 友子

天と地の動く気配や木の芽吹く

羽生 長谷部愛子

憂い事の心機一転春うらら

騎西 戸田 達子

露味噲や昭和の味を子に伝え

羽生 湯橋 信子

浅蜷貫ひ袋に返す畑のもの

羽生 泉津井 清

ベビーカー父に押されて桜土手

羽生 樋口登美子

筑波嶺や利根大橋の日脚伸ぶ

羽生 長瀬 三男

金平糖母と頬張る春ひと日

行田 平井 昭政

淡雪や消えゆく友の顔ゆがむ

加須 松永 喜芳

針金で巢作り励む鴉かな

騎西 根岸 栄一

嫁した娘の部屋にも豆を打ちにけり

川里 木暮 浅代

夕暮れの風の墓苑や春しくれ

騎西 田沼 絹子

露の臺首を上げれば摘まれそう

羽生 多田千代子

蒲公英の絮もつと遠くに行けるはず

羽生 五月女文子

ぶらんこを見つめ駆け出す幼児かな

羽生 木本 政秋

のぼり詰む草津雪道硫黄の香

行田 田島 許子

※6月号への投句は、4月24日(必着)までに、

〒348-8513 JAほくさい営農支援課(住所不要)

宛てをお願いします。

応募資格はJAほくさい管内にお住いの方。誌面等の都合により投句いただいたすべての方の句を掲載することはできませんので、あらかじめご了承ください。

北埼玉地域でスマート農業を 実証中

埼玉県では、農業者等がスマート技術を導入し、生産現場で実証を行う「スマート農業普及推進事業」を実施中で、管内では、「行田市の生産者グループによるRTK基地局と自動操舵システムの活用」、「加須市の生産者によるロボット田植機の活用」が事業採択され、令和3年度から3年間、導入効果等について検証を行っています。今回は、昨年度の内容について紹介します。

【RTK基地局】 1 実証の目的

RTKとはReal-Time Kinematicの略称で、地上に設置した「基地局」からの位置情報補正電波によって、高精度の測位を実現する技術のことです。行田市に設置した基地局から半径20kmもの広範囲をカバーしており、自動操

舵を可能とするGNSS利用装置を既存のトラクタ等に装着することで、正確な位置を耕うんする等の自動運転が可能になります（監視する人の乗車は必要です）。現在は行田市以外にも加須市、羽生市にも利用者が拡大してきています。令和4年度は作業時間の削減効果や疲労度の軽減効果等の実証を行いました。

2 実証の状況

【作業時間の削減効果】

1年間のトラクタ稼働時間を調べたところ、自動操舵の活用により、稼働時間を24・4%削減することができました。

また、各作業による作業時間の削減効果を調査したところ、自動操舵の活用により、畔塗りでは1・98%、田植えでは15・2%、除草剤散布では40・1%、大豆は種では7・73%作業時間を削減することができました。

【疲労度の軽減効果】

平常時と作業時の心拍数を測定して、心拍上昇率を調査したところ、田植機の運転者の心拍上昇率は手動操作で16・2%でしたが、自動操舵では7・8%でした。このことから、自動操舵を活用することにより、身体的・精神的な疲労度の軽減が推測されました。

利用者からは「スマート農業技術は、今後担い手が減少する中で農地を地域全体で維持するために作業負担を軽減させるので必要な技術」といった声が聞かれました。



自動操舵による田植え作業の様子

【ロボット田植機】

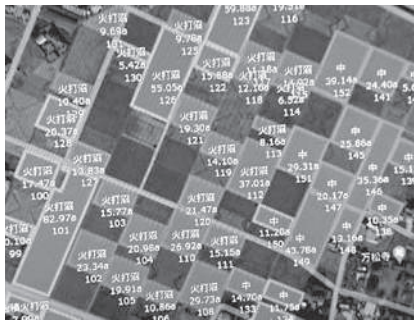
1 実証の目的

無人で田植えが可能なロボット田植機を活用して、地図マップの作成と施肥マップの作成を行いましたのでその概要について紹介します。

2 実証の状況

①地図マップの作成

ほ場管理システム（KSA）を活用し、地図マップの作成を行うことにより、ほ場番号、田植日、作付品種、施肥等がほ場管理システムに構築され、PCやスマートフォンでリアルタイムに確認が可能となりました。



ロボット田植機との連動による地図マップ

②施肥マップの作成

収量コンバインのデータを活用し施肥マップを作成する

ことにより可変施肥が可能となりました。可変施肥とは、一枚のほ場内で生育・収量ムラがある場合にそのポイント（エリア）に対して田植時に施肥量の増肥や減肥ができる最先端の技術です。



80aほ場内の10mメッシュ施肥マップエリア（メッシュ）別に増肥・減肥が設定可能

利用者は「ほ場管理システムの活用により社員を含め、各ほ場の状況把握が容易になった。次年度は作成した施肥マップに基づいて可変施肥を行い、生育ムラを改善して収量・品質の安定に向けた取り組みを行う予定」と語っています。

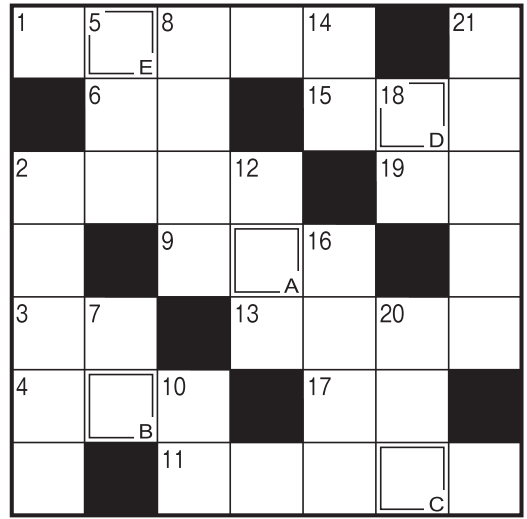
加須農林振興センター

☎0480(61)3911

農業支援部



文字を並べ、何語か？
 5の順に言葉は
 マスのA～Eで
 二重でできるよ



(出題) ニコリ

- ヨコのカギ
- 唱歌『花』に歌われている川
 - 写真などを撮影するための施設
 - ラクダやアルパカに似たアンデス地方の動物
 - クジラより小さめです
 - 4月なのに冷えるなあ、――の戻りかな
 - 書類の何も書かれていない部分
 - 新1年生の皆さん、ご――おめでとう
 - 爬虫(はちゅう)類は変温動物、哺乳類は――動物
 - 1、3、5、7、9……
 - 日本人の主食です
 - 船を着けます
- タテのカギ
- 野球のBSOのS
 - 敵ではありません
 - 正しい答えに付けるマーク
 - 遠くて近きは――の仲間
 - シオマネキもこの仲間です
 - 得意なもの。漢字で書くと十八番
 - 体温計を挟みます
 - 空弁(そらべん)が売られている所
 - 田畑を耕す道具の1つ
 - ギリシャ文字の最後の字。Ω、と書きます
 - 選抜高等学校野球大会の会場です



〈3月号の答〉
 イチゴガリ

・締切は令和5年4月末日到着分まで。
 ・正解者には抽選により賞品をお贈りします。
 ・(個人情報)の取り扱い…この応募用紙は抽選と商品発送およびご意見掲載の目的以外には使用いたしません)

〈応募の方法〉
 ・ハガキに答え、住所、氏名、年令、電話番号を記入のうえ、〒348-1851 3 JAほくさい 営業支援課宛送付(住所の記入は不要です)、または各支店窓口へお持ちください。ご応募はJAほくさい管内(行田市・鴻巣市川里地区・羽生市・加須市)にお住まいの方に限らせていただきます。
 ・応募の際、ご意見、本誌へのご感想などをお書き添えください。中から「ほくさい」に掲載させていただくこともあります。
 ・応募の締め切りは令和5年4月末日到着分まで。
 ・正解者には抽選により賞品をお贈りします。
 ・(個人情報)の取り扱い…この応募用紙は抽選と商品発送およびご意見掲載の目的以外には使用いたしません)

「ごいましてら〜」

☆2月号クロスワードパズルの当選者は次の8名です。ご当選おめでとうございます。記念品をお贈りいたします。

- ☆永沼規美様(行田)
- ☆藤村美智子様(川里)
- ☆間仁田洋子様(羽生)
- ☆長谷川光子様(加須)
- ☆萩原 保江様(騎西)
- ☆柴田 正子様(北川辺)
- ☆加納 廣子様(大利根)
- ☆丸山 スイさま(大利根)



編集後記

最近、子供がやっているあるスポーツのチームのコーチをなぜかやることになってしまいました。子供に付き添って練習をみているうちに熱くなってしまったのか…チームになにか貢献したいか思ってしまったのか…自分では全く違うスポーツをやっていたので、ルールだってそれほど知らず。そもそも体が動くのかどうかわからず。そんな状態で大役を引き受けてしまっただけでいいのでしょうか。不安が尽きません。すでに若干、後悔を感じています。子供に「がんばれ」と言っていますが、本当は自分に言っています。

R・K

第11回 JAほくさい年金友の会 ゴルフ大会



2023年 **7月11日** 火

プレステージカントリークラブ

栃木県栃木市梓町455-1 ☎0282-31-1111

参加資格

- ①当JAで年金をお受け取りいただいている方
- ②今後、当JAで年金をお受け取りいただける方
※但し、2023年度において60歳以上の方



- **申込方法** 最寄りの支店にて参加申込書をご記入下さい。
- **申込期限** 2023年5月31日(水)
※定員になり次第締め切りとさせていただきます。
- **競技方法** 新ペリア方式による18ホールストロークプレー
- **プレー費** 各自のご負担となります。
14,000円(税込)
※昼食代(飲み物別)、キャディフィ、利用税込

募集人数
36組
(144名)
参加費
3,000円
※大会当日受付時に承ります。

 **ほくさい農業協同組合**

詳しくは、最寄りの支店までお問い合わせ下さい。

JAほくさい
ホームページ



 **JAほくさい**

JAほくさい 4月号(No322) 2023年4月1日発行
編集・発行／ほくさい農業協同組合 〒348-8513 埼玉県羽生市東7-15-3
TEL 048-561-6911(代) URL (アドレス) <https://jahokusai.jp/>

